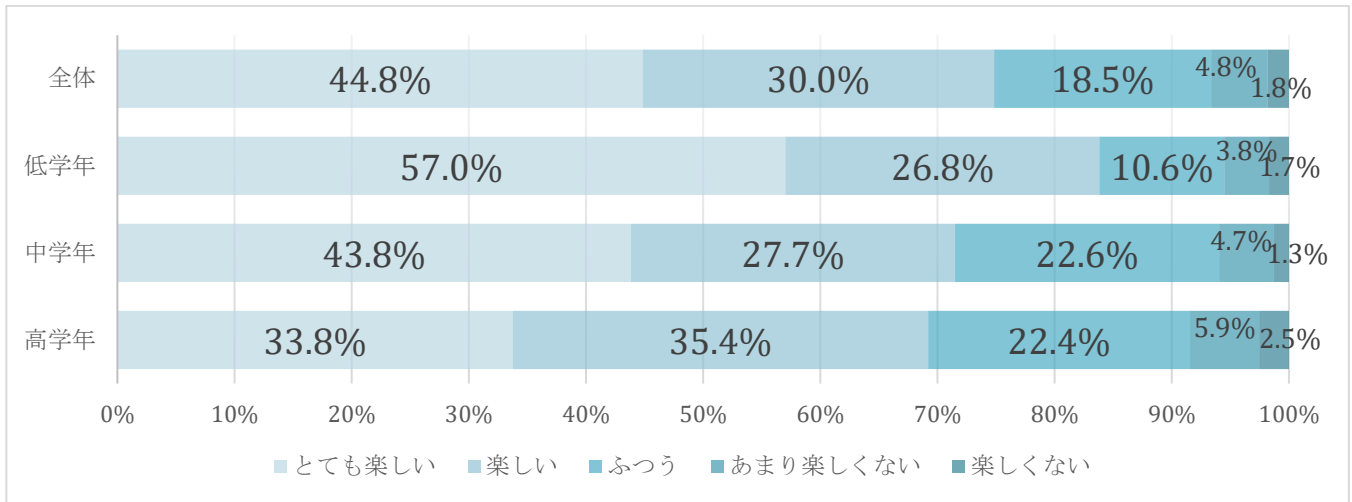


【令和5年度学校生活アンケート(児童)】

調査時期:令和5年11月下旬~12月上旬

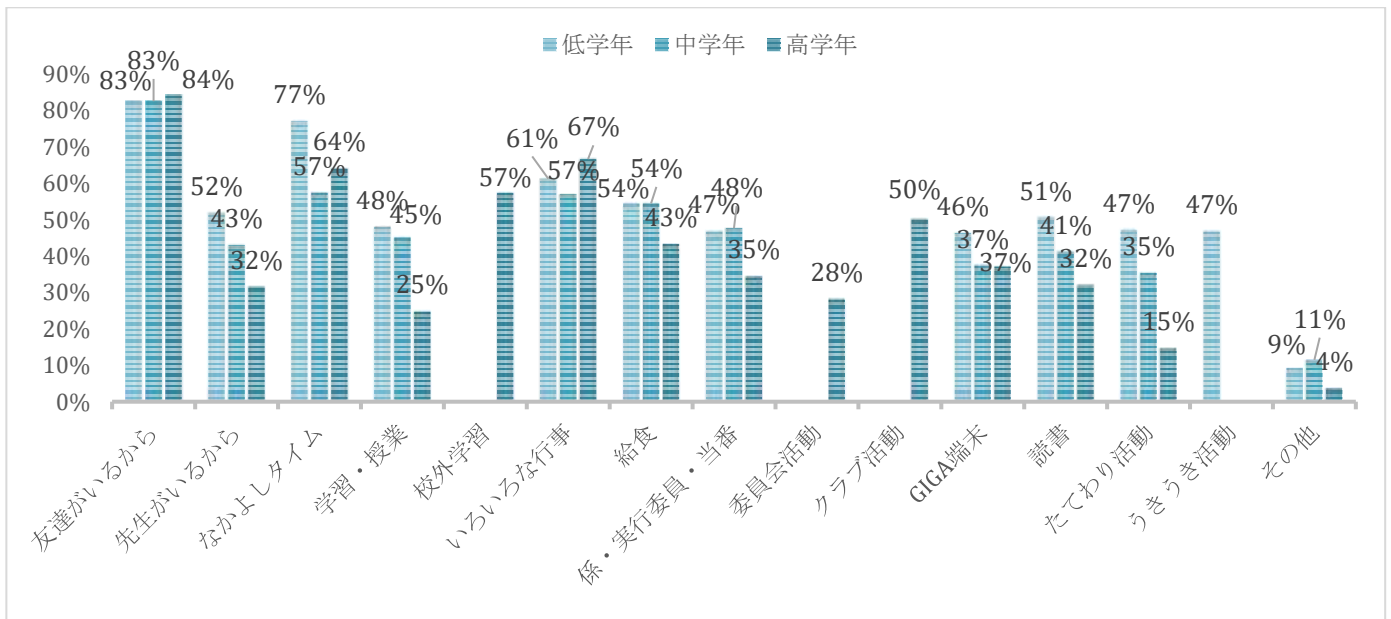
調査対象:宮前小学校児童 707名回答 (回答率95%) *Google Formを用いてアンケートを実施

1. 学校は楽しいですか。

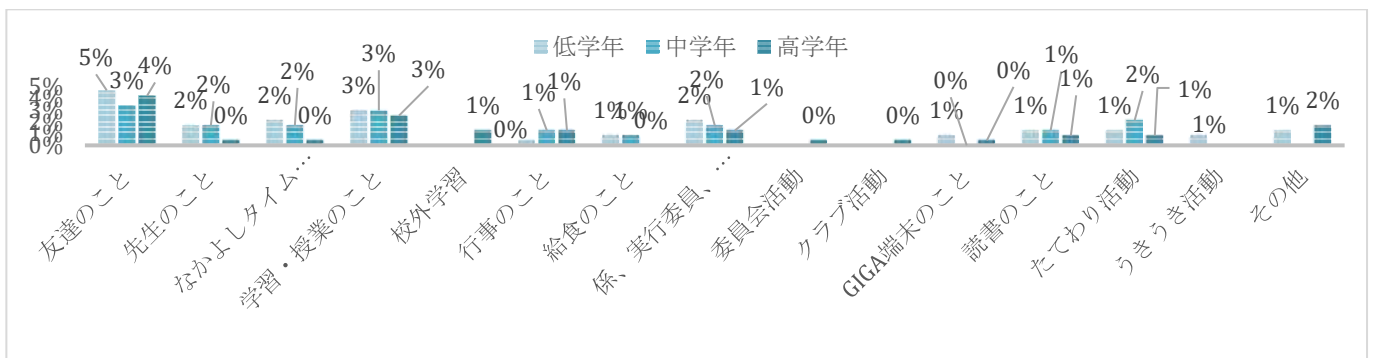


2-1. 学校が 楽しいと おもえるのは どんなこと があるからですか。(いくつでも えらんでください。)

*設問1で「とても 楽しい」「楽しい」「ふつう」を選んだ場合、設問2-1へ、「あまり楽しくない」「楽しくない」を選んだ場合、設問2-2へ誘導



2-2. 学校が 楽しく 思えなかったり 困ったりするのは、どんなことがあるからですか?(いくつでも えらんでください。なければ えらばなくてもいいです。)



学校が「とても楽しい」「楽しい」という回答は、全体の74.8%でした。「ふつう」も含め、子どもたちが元気に登校している姿と保護者のアンケートによる、元気に通っているという印象はほぼ一致しています。

一方で、「あまり楽しくない」「楽しくない」という回答を合わせると、昨年同様6%程度になります。今年度も、様々な努力をしてきたところですが、次年度も全ての児童が楽しく通える学校を目指して取り組んでまいります。

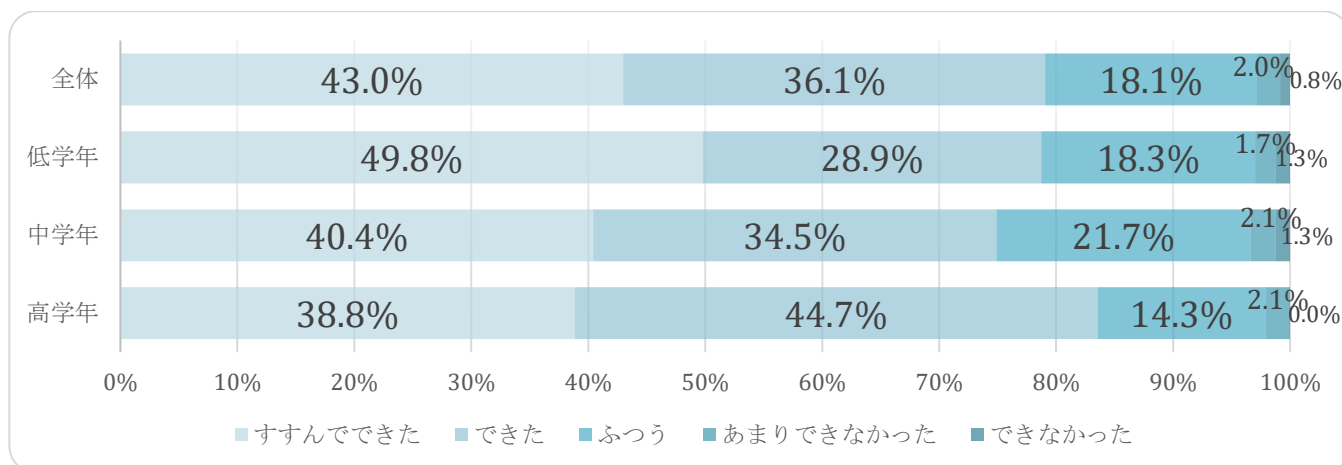
次にその理由を見てみます。各学年ともに、楽しい理由の一位は友達であり約9割の子どもたちが回答しています。楽しくない理由の一位も友達となっています。友達関係が学校生活の中では重要であることがわかります。

なかよしタイムが一番楽しいのは昨年と同様です。今年度は遠足や運動会など、行事が充実してきたことから行事を挙げる回答が多くなっています。特に低学年で昨年より増えています。アンケートの直前に行われた「宮前フェスティバル」を、宮前小学校のすきなところとして挙げている子どもたちも多数いました。イベントを楽しみ、全力で取り組む子どもたちの姿が表れています。

読書については、楽しみな児童が多く、朝読書への取組の成果が見られます。本に触れる機会をより増やしていきたいと考えます。

楽しくない理由としては、「友達」に次いで、「学習・授業」を挙げている回答が多く見られました。やはり学習に悩んでいると、学校が楽しいと思えなくなります。教科の項目で、検討していきます。

3. すすんで 実行委員や 係の仕事をしたり、たてわり活動や 行事などに さんかしたり できましたか。

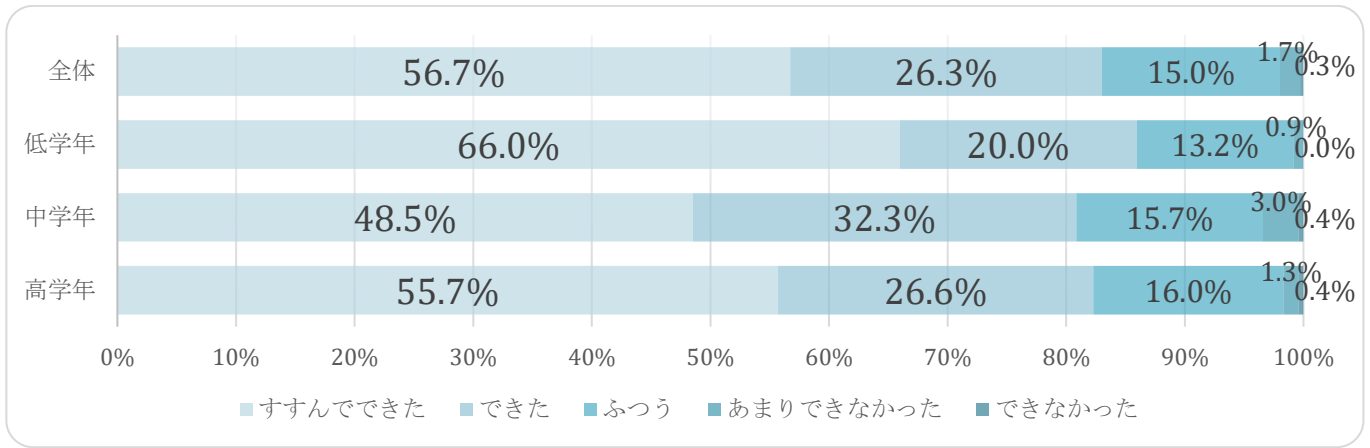


全体として、「すすんでできた」という回答が昨年より増加しています。高学年で「すすんでできた」「できた」という回答が多く、自主的に活動に参加していた様子がわかります。

実行委員については、1年生では行事など必要な時に実行委員を作り、希望者を募って取り組みました。学年の代表ということで、やる気をもって取り組む姿が見られました。2年生以上では年間を通して一人一役を決め、見通しをもって活動することができました。実行委員や係活動は、自分でやりたい活動を決めることで、責任をもって行動する姿も見られました。

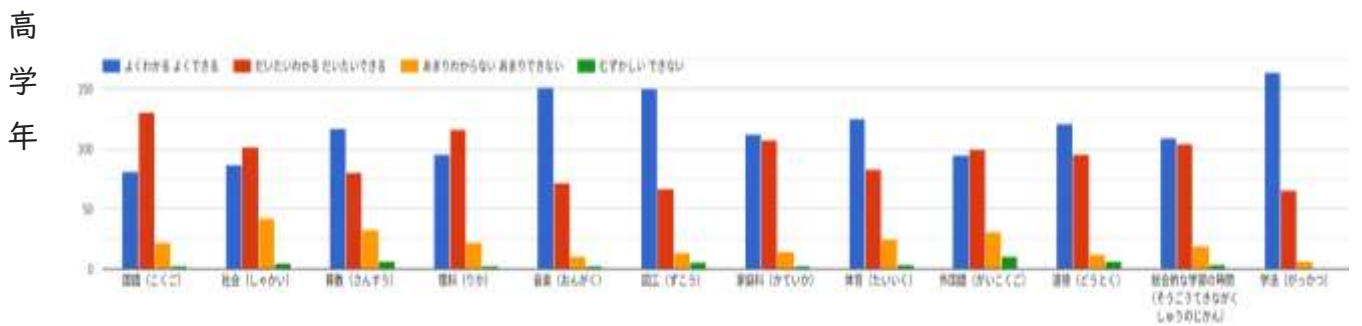
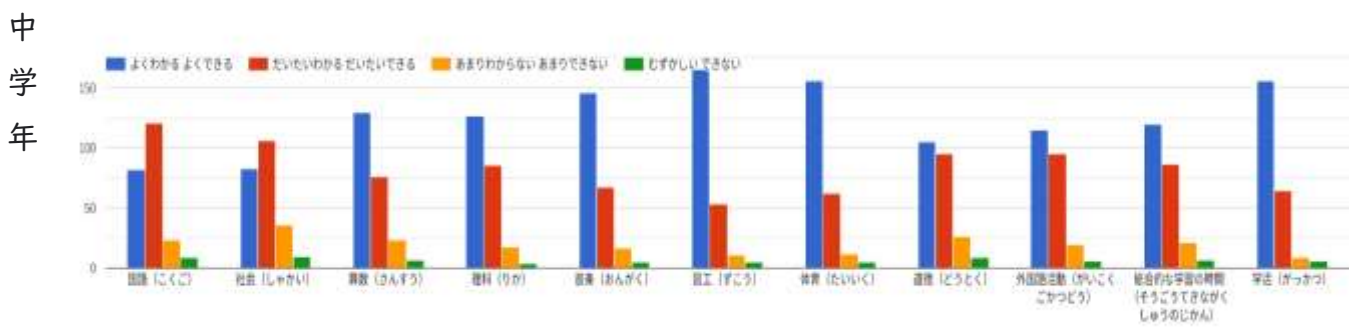
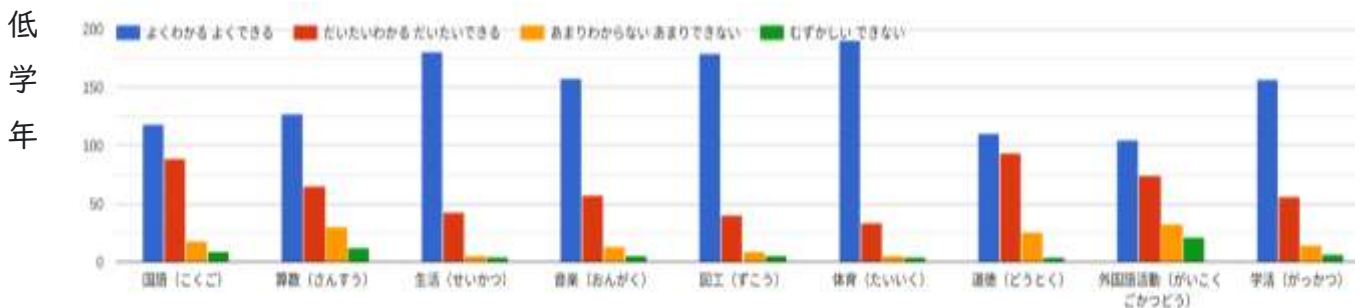
たてわり活動では、たてわり班ごとに6年生が活動を計画し(1月からは5年生)、運営しています。活動の最後に感想を聞き、下級生から「楽しかった」という声をもらった成功体験を積み重ねてきました。課題に対しても、次回に向けて粘り強く取り組む姿が見られました。そのような姿が、高学年の満足感の表れとなっていると考えられます。今年度は時程を変更し、活動の時間を30分間としたことで、十分な活動ができたことをうれしく思います。さらに主体性をもって、子どもたちが活動の内容を考えながら取り組んでいけるようにしていきたいと考えます。

4. 友達と なかよく 協力して 生活できましたか



友達との協力については、今年度も8割以上の児童が「よくできた」「できた」と回答しています。学年や学級に合わせ、「良いところカード」など、子どもたちがお互いのよいところを見つけ合う実践を行っている学級もあります。保護者アンケートのまとめで紹介した、MPP(宮前パワーアッププロジェクト)の取り組みも、子どもたちにより影響を与えていると考えられます。記述式アンケートにも、多様性や、子どもたちの優しさを挙げる意見がみられ、宮前小学校の良さとなっています。

5. 学校の勉強は よく わかりますか。気持ちにあうものを えらんで、チェックしましょう。

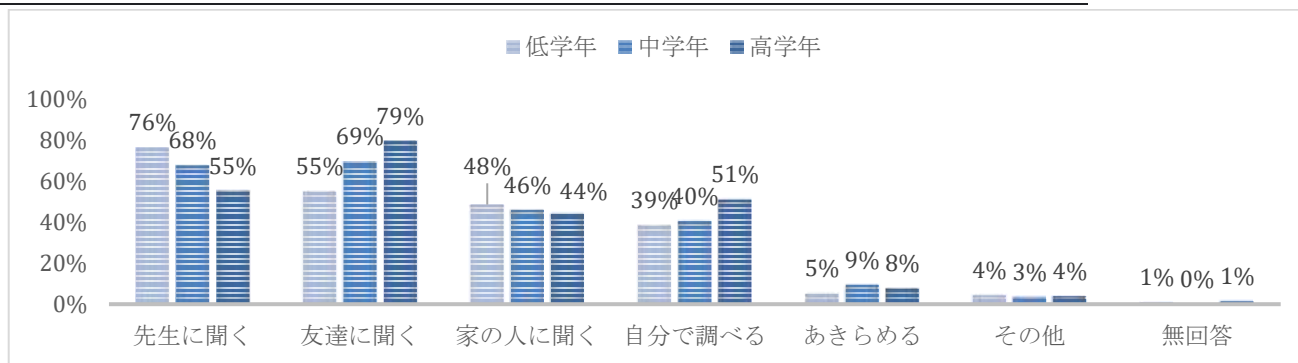


国語・算数に関して、「よくわかる・できる」「だいたいわかる・だいたいできる」という回答が多く、国語の研究の取り組みや、少人数授業の成果がみられます。一方、保護者アンケートでは、心配するご意見もありましたので、学習内容の定着に一層努めていきます。

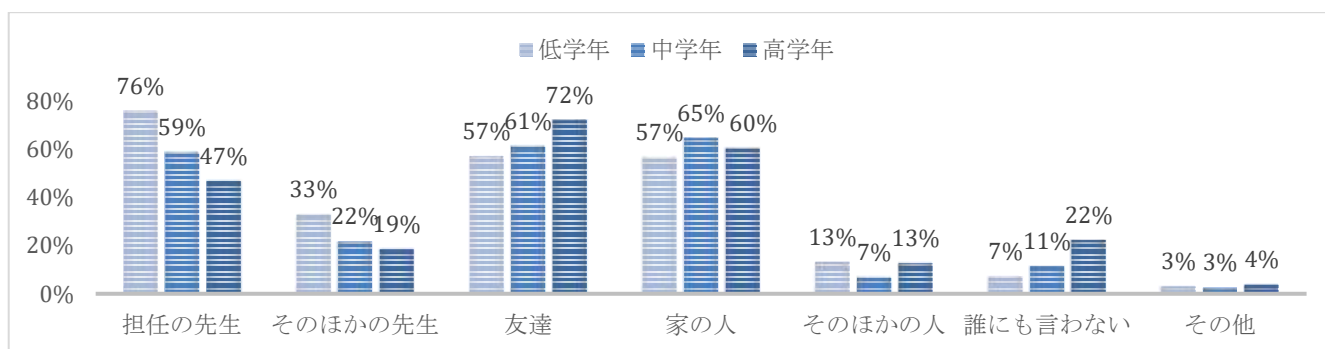
今年度も、図工や体育に自信をもつ児童が多く見られます。体育に関しては、運動が苦手な児童も、身体を動かすことを楽しむことができたと読み取ることができます。学活の数値の高さは、係活動など自主的活動への意欲と繋がっています。

低学年の外国語は、主に英語で指導が行われるため、難しいと感じている姿が見られます。歌やダンス、ジェスチャーをとり入れたり、日本語で説明を加えたりしながら、外国語に楽しく触れる経験をさせていきたいです。

6. もし、学習(がくしゅう)で わからないことが あったら、どうしますか。(いくつでも)



7. もし、困った(こまった)ことが おきたら、だれに 相談(そうだん)したいですか。(いくつでも)



低学年は先生や家の人を、中学年・高学年は友達を一番頼りに思っていることが分かります。

困ったときには、低学年は担任の先生、中学年は家の人、高学年は友達に相談する児童が多く見られます。

低学年の子どもたちは、担任以外の先生も頼りにしています。支援教育Co.や級外の教員が日ごろから教室に入っているため、親しみを感じていることの表れと考えられます。今年度も学校カウンセラーが月に2回来校し、子どもたちの話を聞いています。話せる、相談できる関係が増えていくことが子どもたちの居場所作りにも繋がっていきます。今後も、宮前小学校の教職員全員で力を合わせて子どもたちの成長をしっかりと見守っていきます。

8. 宮前小学校の好きなのはなんですか。【主なワードを抜粋】

低学年	なかよしタイム:30 友だち:24 楽しい:15 きゅうしょく:13 宮フェス:12 図書室:7 勉強・授業:7 図工:6 先生:5 校庭:5 たてわり:3 体育館:2 教室:2 校長先生:2 しえんきゅう:2
中学年	友達:43 楽しい:35 優しい:20 先生:18 宮フェス:17 行事:16 給食:10 なかよしタイム:9 授業:7 図書室:7 たてわり:6 いろいろな国:4 国際:2 オープン教室:2
高学年	友達:40 楽しい:22 優しい:21 行事:19 校庭:17 先生:16 給食:15 宮フェス:9 様々な国:8 図書室:7 授業:6 宮前小の歴史:6 なかよしタイム:4 うさぎ:3 植物・自然:3 GIGA端末:2 校外学習:2 バスケ:2

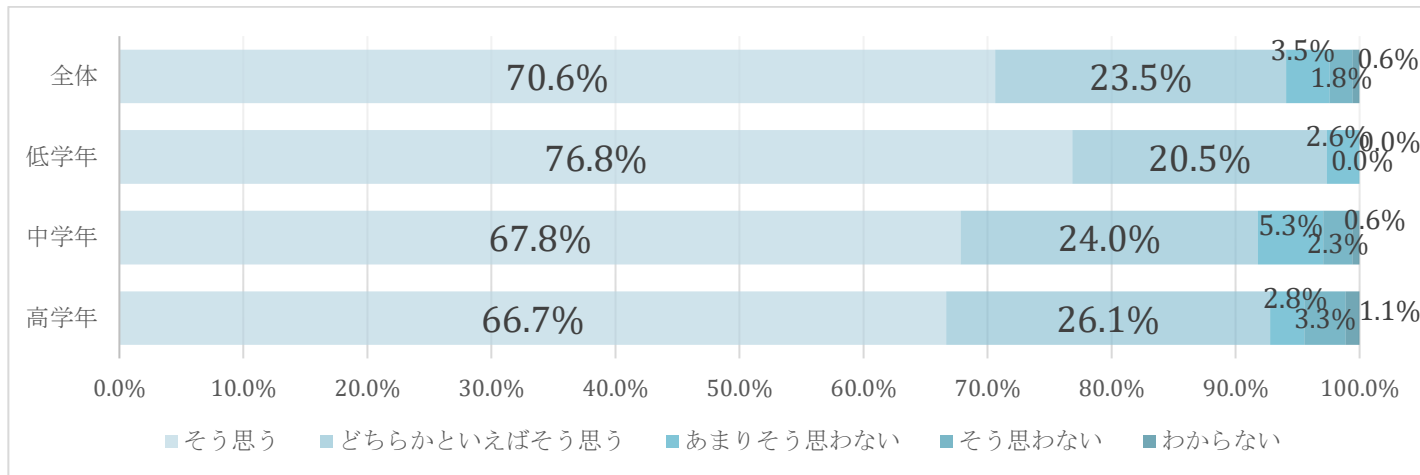
【令和5年度学校生活アンケート(保護者)】

調査時期:令和5年11月下旬~12月下旬

調査対象:宮前小学校児童保護者(児童一人につき一回答) 544回答(回答率73%)

*Logo Formを用いてアンケートを実施

1. お子様は毎日元気に学校へ通っていますか。



「そう思う」という回答が本年も7割を超え、「どちらかといえばそう思う」を合わせると94.1%と、概ね昨年同様の回答となりました。子どもたちが元気に登校できるようにたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

今年度の取り組みについて

① 児童が安心して生き生きと自主的な活動ができる環境づくり

【今年度の取組】

○居場所のある学級・安心できる学校づくり

→児童のよいところを認める、ほめることを大切に、教師と児童、児童と児童の温かい関係づくりを進めてきました。

→学年協働体制、全校体制によるチームでの指導・支援を行ってきました。

○自主的な活動の充実

→学年の段階に応じた実行委員制や係活動、たてわり班活動など、児童の主体的な活動を進めるなかで楽しい学校生活の創造を図ってきました。

→児童の計画委員会、子ども会議、集会委員会などを中心に、内容を工夫しながら、児童が交流する活動をつくってきました。

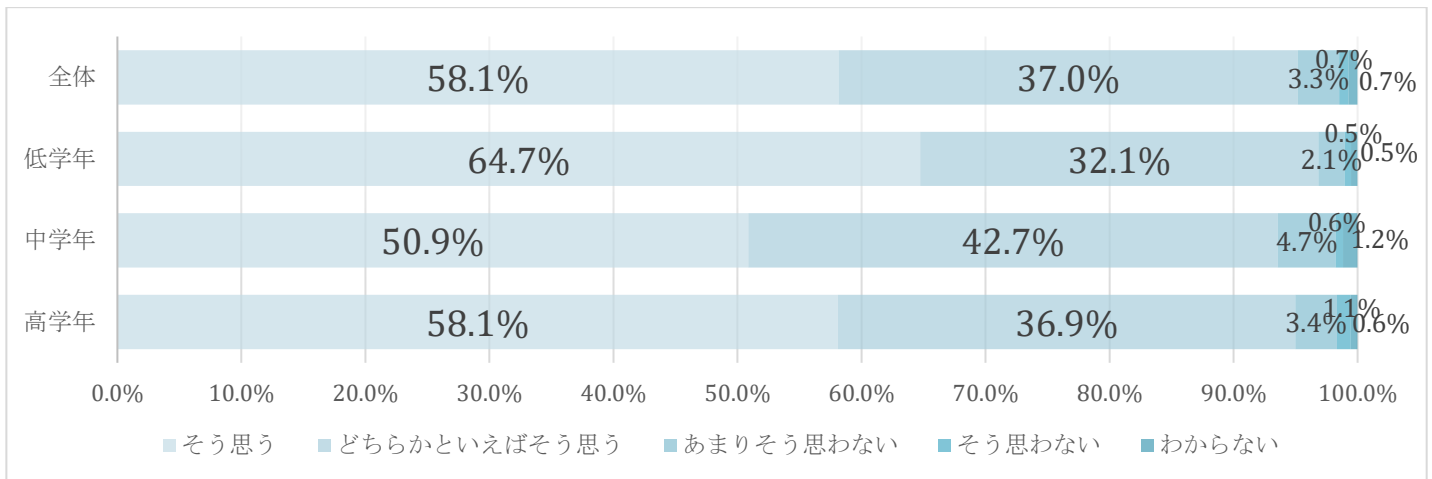
○安全で学習しやすい環境づくり

→迅速な修理・補修、整理整頓などの環境整備を心がけ、安全で学習しやすい環境づくりを進めてきました。

→地域や他機関と連携した安全教育、防災教育を進めてきました。

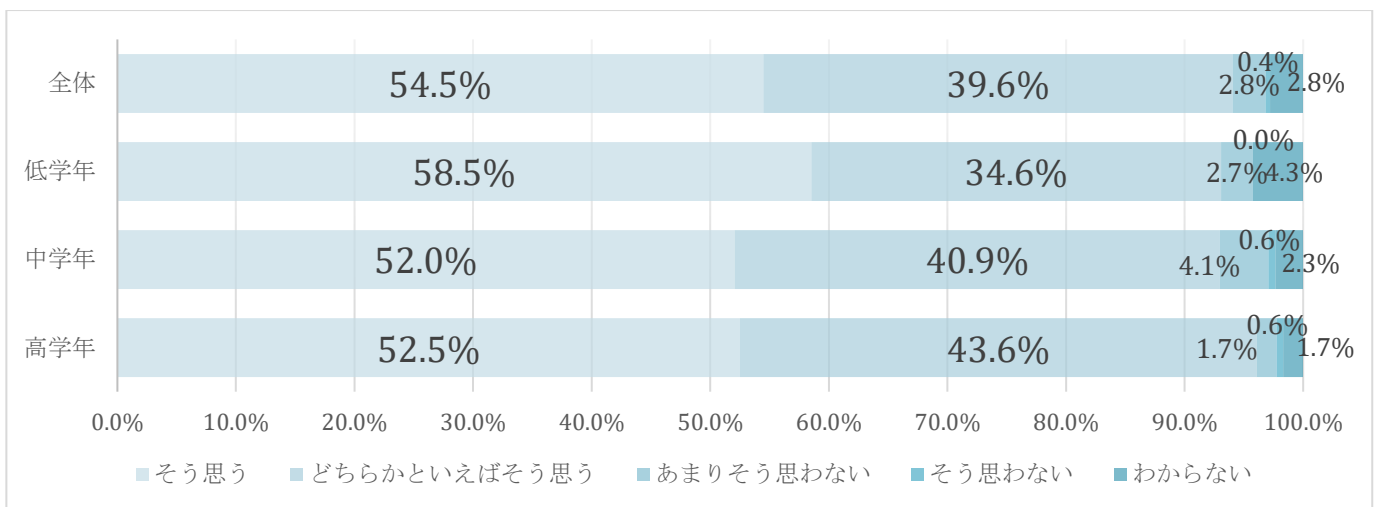
2. 「児童が安心して生き生きと自主的な活動ができる環境づくり」について

① 宮前小学校は、お子様にとって居場所のある学級、安心できる学校となっている。



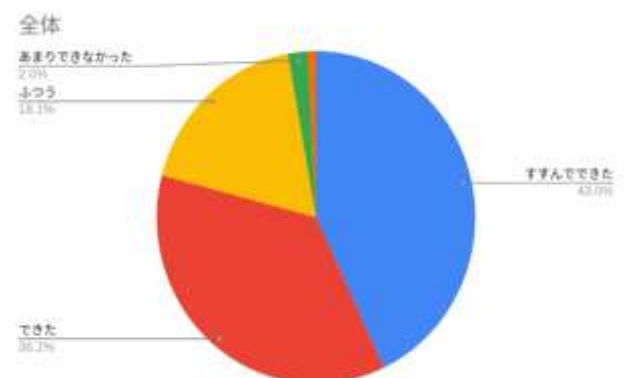
全体で、95.1%の方から「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答をいただきました。昨年と比較すると、高学年の「そう思う」がやや増えていることも、うれしいことです。一方、中学年では「あまりそう思わない」がやや増加しています。より子どもたちが主体的に居場所作りができるよう、友達同士の関係づくりや、自分らしくいられる時間を大切にしながら、すべての子どもたちにとって安心できる居場所となる学校を目指していきます。

② 宮前小学校は、お子様が学校生活を楽しめるような、主体的な活動や交流する活動が充実している。



参考：児童による自主的な活動への取組の回答

3. すずんで 実行委員や 係の仕事をしたり、たてわり活動や 行事などに さんかしたり できましたか。



全体では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて94%の回答をいただきました。

今年度の児童アンケートでは、高学年を中心に、自主的な活動に進んで参加したという回答が9割を超えました。委員会活動、たてわり活動、行事等で、それぞれが意欲をもって、進んで取り組んだという自負が感じられます。

②人権尊重教育を基盤とした教育の実践

○互いのよさを認め合い、いじめを許さない学級・学年づくり

→あいさつはコミュニケーションの第一歩ととらえ、気持ちのよいあいさつができるよう取り組んできました。

→よいところ、がんばりを認め合える、達成感を大事にする指導を行ってきました。

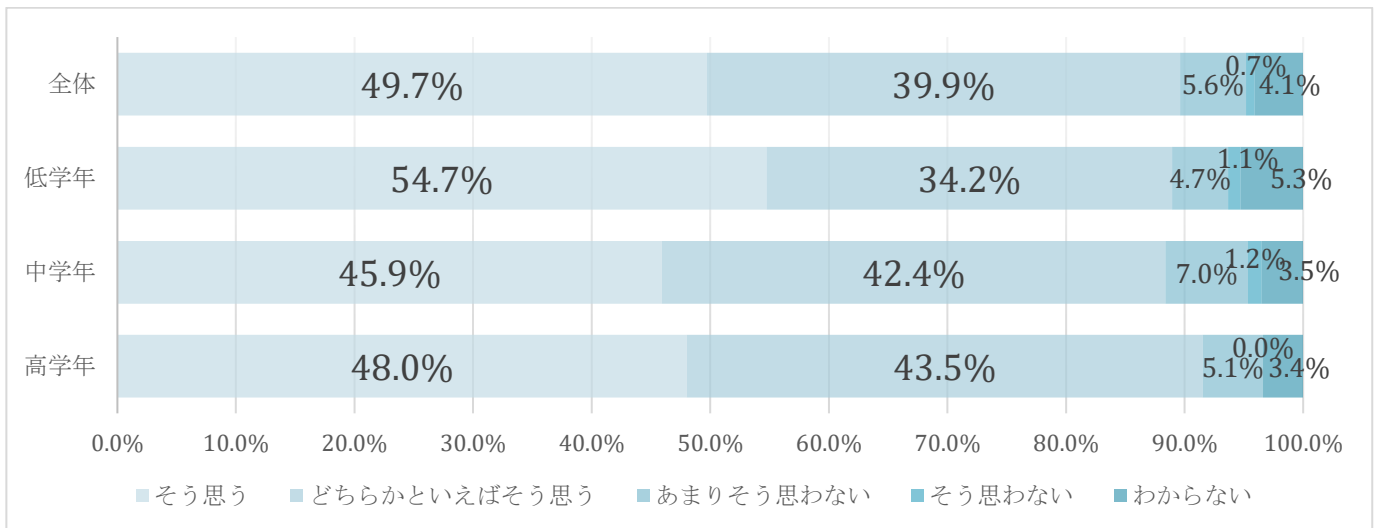
→ご家庭からの連絡、相談に迅速に対応するよう努め、また、学級担任だけでなく、支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーなどによる教育相談も随時行ってきました。

→児童へのアンケートや面談の実施、家庭との連携により、いじめの早期発見・早期対応に努めました。

○人間関係づくりの授業「ハートタイム（共生・共育プログラム）」を行いました。

3.「人権尊重教育を基盤とした教育の実践」について

①宮前小学校は、よいところやがんばりを認め合えるような指導を行っている。

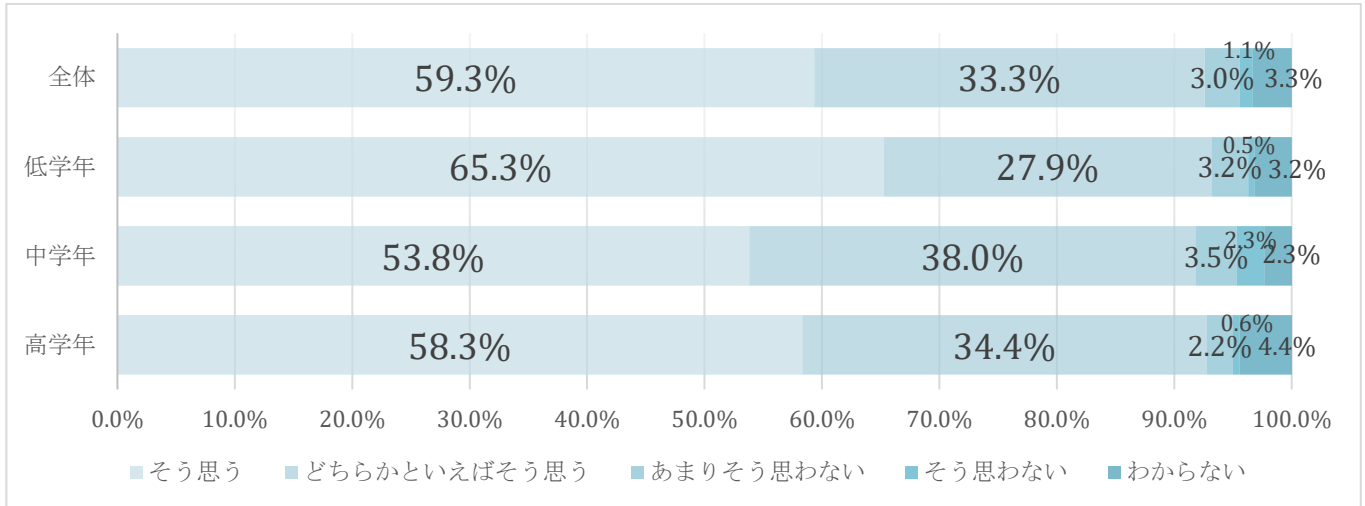


「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が9割近くの回答をいただくことができました。高学年で、「そう思う」が多いこともありがたいことです。

計画委員会では、MPP(宮前パワーアッププロジェクト)に取り組んでいます。今年度は、運動会の各学年や種目への取組について、素晴らしかったところをお手紙に書き、それをお昼の校内放送で読むという取り組みをしました。子どもたちが、学年を超えて互いの良いところを認め合う姿が見られました。

各学級の取組の例としては、夏休み明けの作品や1月の書き初めを見に行くことで、他学年の取組に対して「すごいね」と感じたり、他の学級の友達の頑張りを認めたりする姿が見られました。また、帰りの会などで、友達の良いところを発表する時間を設けたり、図工作品の感想交流や、国語の作品の読み合いなど、友達の意見や作品を認め合う活動を多く取り入れたりしています。このような活動を通して、これからも友達から認められるうれしさや達成感を大切に育ててまいります。

②宮前小学校は、ご家庭からの連絡・相談に迅速に対応している。



迅速な対応については、9割以上の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答をいただくことができました。今年度も、ご家庭からのご相談については、担任だけでなく、学年、コーディネーター、管理職とともに、チームで対応し、迅速に解決できるように努めてまいりました。ご相談の内容が複雑化し、解決に時間を要することもあります。情報を共有しながら、丁寧に、子どもたちの成長に繋がる解決を目指していきます。

③一人ひとりの教育的ニーズに合った学習指導

○学習指導要領に基づいた授業実践

→子どもたちの意欲と学び合いを大事にする授業づくりに取り組んできました。

→GIGAスクール構想の推進に努め、学習での効果的なICT活用について、実践・検証してきました。

→学校司書と職員や図書ボランティアの皆様との効果的な連携を図り、児童の読書活動の一層の活性化と情報活用力の育成を進めました。

○学習意欲の向上と基礎基本の学習の定着

→専科担当による授業（音楽・書写・外国語）、少人数・TT授業、担任間の交換

授業などにより、児童の学習意欲の向上と学習内容の定着を図りました。

→授業時数の確保、学習内容の定着のため朝学習（3～6年）を行いました。

→地域副読本「みやまえ」を活用し、地域を知り、地域に親しむ学習を進めるとともに、市制100周年に向けた取組を行いました。

○個に応じた学習支援の実践

→支援教育コーディネーターや学習サポーターが個に応じた支援を行いました。

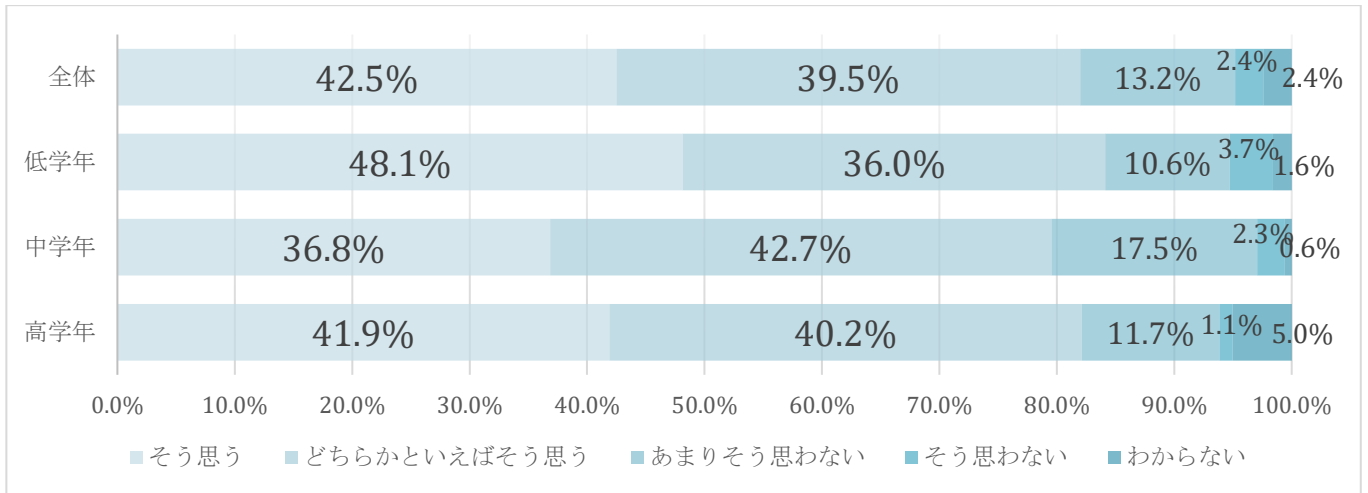
→国際教室担任による日本語指導及び各教科の学習支援を行いました。

○校内全職員による国語科授業の研究

→国語科の授業研究を行い、児童の言葉の力、伝え合う力の育成を図ってきました。

4.「一人ひとりの教育的ニーズに合った学習指導」について

①お子様は、GIGA端末を積極的に活用している。

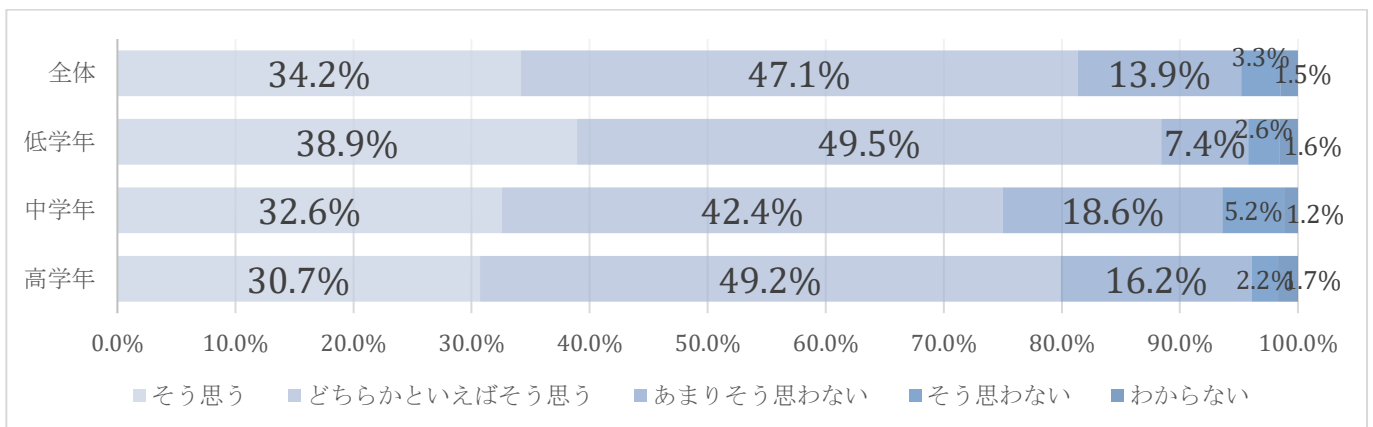


全体で8割の方に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」とご回答いただきましたが、「あまりそう思わない」が全体的に昨年度より増えています。ご家庭では、宿題のドリルパークへの取組や、クラスルームでの連絡などの活用を目にする機会が多いと思われます。学校での活用の例をご紹介します。

低学年では、アサガオや野菜の様子を写真で記録し、成長を比べながら観察できるようにしました。図工のアイディアスケッチをGIGA端末で行うと、修正がしやすいという良さがあります。作品の写真の提出・鑑賞にも活用しました。中学年では、総合的な学習の時間などでの発表のスライド作りに取り組みました。高学年になると、国語で意見文などを書く時に文章入力をしています。推敲し、修正がしやすいだけでなく、友達と文章を読み合い、感想やアドバイスなどの交流を行うことには大変有効なツールとなっています。体育の時間には動画を撮影し、友達と見合ったり、振り返ったりするのに活用しています。

子どもたちは、様々な場面で活用する力をつけてきています。情報モラルや使い方のルールに関する指導をより徹底し、子どもたちが安全に使うことができるように指導してまいります。

②お子様は、学習に意欲的に取り組み、学習内容が定着している。



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答が、今年度も8割を超えました。一方で、「あまりそう思わない」「そう思わない」というご意見が他の質問より多くなっています。中学年・高学年で、学習意欲や学習内容の定着について難しさがあるという課題が見られます。

今年度は、3年・5年で算数の少人数指導を行いました。学習内容によって、習熟度別の学習を取り入れたり、チームティーチングを行ったりしながら、きめ細かな指導を行い、一人一人の学習の定着を図ってきました。木・金

の朝の時間は朝学習を行い、学習内容の習熟に努めました。国語の研究は3年目となり、言葉の力を高め、伝え合い高め合う学習を積み重ねてきました。児童アンケートでは、国語への苦手意識が少なく、子どもたちが自信をつけている姿が見られます。

今年度の成果と課題を検討し、来年度に向けて、より意欲を高め、「わかった・できた」と実感できる指導に向けて、改善してまいります。

ちいき かてい きょうりょくたいせい すいしん

④地域や家庭との協力体制の推進

がっこう じょうほうはっしん かてい れんけい

○学校からの情報発信による家庭との連携

がっこう がくねん はっこう がっこう とりくみ がくしゅうよてい かくがくねん がっこうせいかつ

→学校だより、学年だよりを発行し、学校での取組や学習予定、各学年の学校生活の様子をお知らせしてきました。

がっこう はいしん かつよう ひつよう じょうほう てきじ し

→学校ホームページやメール配信を活用し、必要な情報を適時お知らせするよう努めました

かんせんぼうしだいさく じゅうぶんはいりょ じゅぎょうさんかん めんだん じっし

→感染防止対策に十分配慮したうえで、授業参観・面談などを実施してきました。

がっこうひょうか じどう ほごしゃ きょうしやくいん じっし がっこうせいかつ

→学校評価アンケート（児童・保護者・教職員）の実施により、学校生活について振り返りました。次年度の教育活動に生かしてまいります。

ちいき れんけい

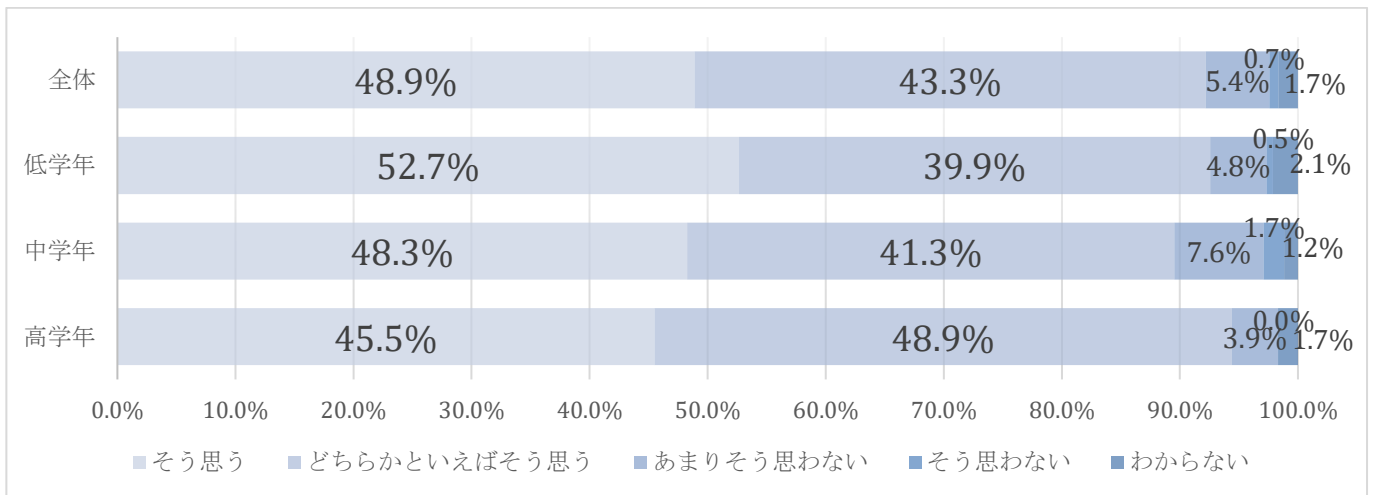
○地域との連携

がっこう かくちょうかい はいふ がっこうきょういくすいしんかいぎ かいさい ちいき

→学校だよりを各町会にも配付するとともに、学校教育推進会議を開催して、地域の方々から学校の取組についてご意見をいただきました。

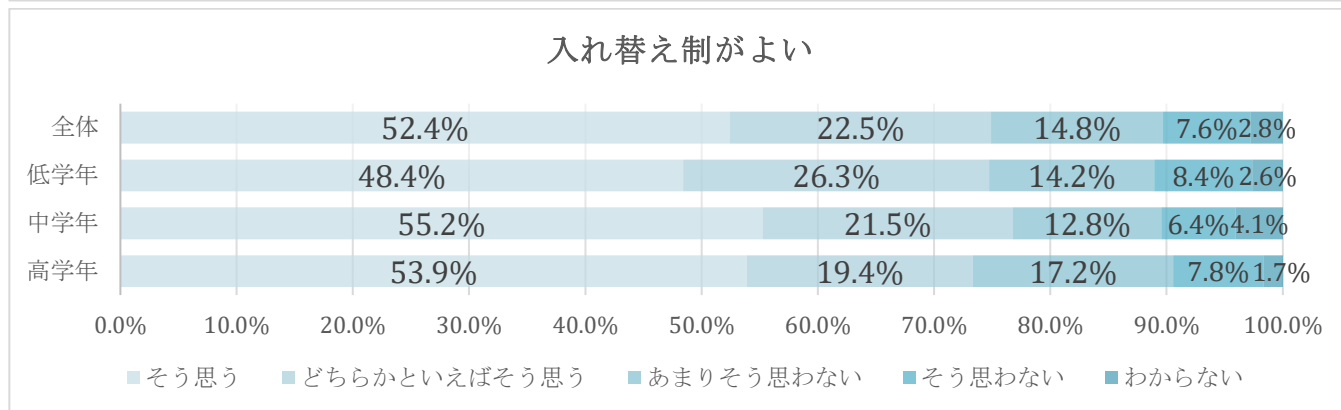
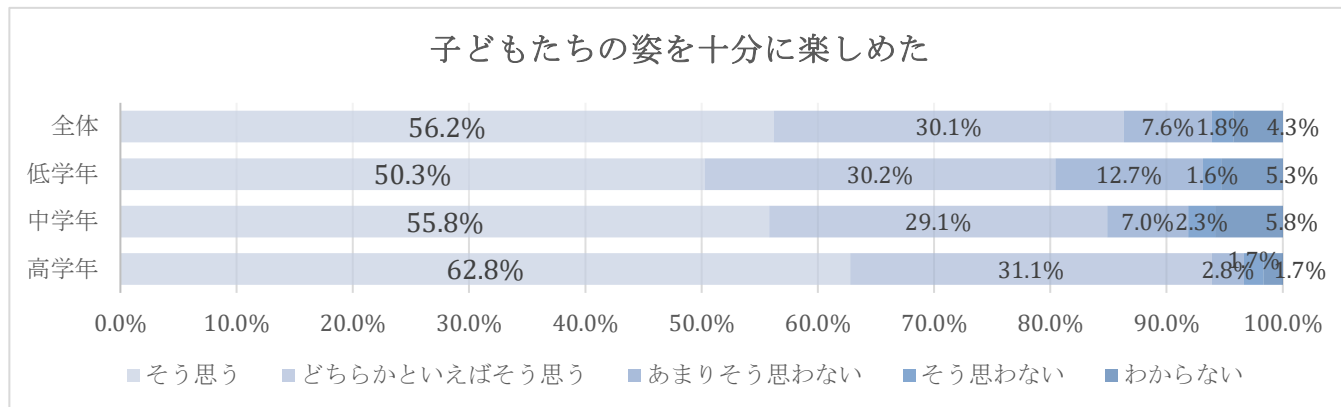
5. 「地域や家庭との協力体制の推進」について

宮前小学校は、学校だより、学年だより、学校ホームページやメール配信等により、家庭との連携が取れている。



ミマモルメによる連絡が定着し、欠席等の連絡はスムーズになりました。今年度も、長期休み後の始業日や、持ち物等の連絡、校庭開放のお知らせなどにメール配信を活用し、宿泊校外学習の様子などもお伝えしてまいりました。学年だよりの裏面で、子どもたちの様子をお伝えしてきましたが、写真が鮮明でなく、伝わりにくいという声もいただいています。今年度は学校公開等で学習の様子を実際に見ていただく機会を多く設けることができました。学校からの発信だけでなく、保護者の方が、来校する機会や、相談しやすい体制づくりに努め、一層の連携を図ってまいります。

6.運動会の実施方法



今年度も、入れ替え制による運動会を行いました。午前中開催の中で、できるだけ多くの種目を行うことができるように努めました。お子様の姿を楽しめたというご意見が9割近くあり、高学年の満足度が高くなっています。低学年は、種目数が少ないため、物足りなさを感じられたと思われます。記述のご意見では、全校児童が校庭に集まる運動会の開催を望む声もありました。来年度は、運動会のはじめと終わりには全校の児童が校庭に集まれるよう、また、低学年の児童の負担を考慮しつつ、他学年の応援を校庭でできるような形での運動会を検討しています。保護者の入れ替え制に関しては、4分の3の方から、ご賛同をいただいています。

今年度はLogoFormでのアンケートを行いました。Webを用いたアンケートは3年目になります。昨年度より多くのご回答をいただき、感謝申し上げます。いただいたご意見を学校運営に活かしてまいります。来年度以降も、ご協力をよろしくお願いいたします。